

■ Ⅲ群の評価

◎良い4点 ○まあ良い3点 △努力2点 ×1点関連がない・不十分

群	下位項目	評価内容と基準	平均	コメント	方向性
Ⅲ 教育課程経営	教育課程経営者の活動	11 教育課程編成者と教職員全体は、教育課程と授業実践、教育の評価の関連性を明確に持ち、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っているか	3.4	<p>・新カリキュラム4年目を終える年度となった。経年となり現状の良否が実績から判断できる時期でもあるが、Ⅲ群の中心を成す教育課程においては十分な評価に至っていない。</p> <p>・評価項目18の“教育課程を評価する体系”の整備がされ、年間を通して都度の評価が成されていくとⅢ群にある各評価項目の達成度が高くなり、教育活動の容易さや評価項目19・20の向上にも繋がっていくと思われる。</p> <p>・評価項目14については単位履修の方法が明記されていないため改善が必要。</p> <p>・評価項目18については、結果活用における倫理規定が明確ではないため改善が必要。</p> <p>・評価項目11～24の中で19～21の3つが最も低い。評価項目19の“専門性”については、専門学校の特性と現教員の中で教育活動を実践していくには、個々の実務経験や専門性以外にも他の看護領域を担うことにはなる。そのような制約がありながらも専門領域を活かしていくためには学内教員で担うべき内容と外部講師に依頼する内容との再調整も必要となる。各看護学領域での評価をもとに調整していく。また、準備時間の保障が十分でないことも要因となっているためその点の対応も必要。</p> <p>・教育力向上のための相互研鑽・自己研鑽については各自で毎年、目標管理はされており評価自体は概ねの教員が“達成”と評価しているが評価項目20の評価は低い。相互研鑽がシステム化されていないことが低い要因とも考える。</p> <p>・評価項目19の“時間の保障”については検討課題として経年で力を入れ、教務課のマンパワーとして教務事務の確保・外部講師への移行、業務のスリム化を図っていたが十分な成果までには至っていない結果となっている。</p> <p>・各立場からの要因も明らかにした上で改善していく。</p> <p>・評価項目21・22については、実習施設との会議や打ち合わせ、反省会等を行い教育内容や学生像の理解を促し、支援体制の充実に繋げているが学びの保障という点においては指導體制が十分でない所もあり経年の課題となっている。意図を伝えながら依頼していく積み重ねの中で改善している内容もある。引き続き各実習施設での課題を都度、検討し改善を図っていく。困難度がある事案については交渉にあたっての準備性を高めていく。</p>	<p>教育課程を評価する体系の整備と評価の実施。</p> <p>学生便覧への単位履修の方法の明記。</p> <p>学生便覧(倫理規定と情報セキュリティ)への明確な記載。</p> <p>業務のスリム化。担当授業の検討・最小限の担当授業の変更。外部講師担当への検討。時間確保の体制づくり。</p> <p>相互研鑽・自己研鑽のシステムの整備。</p> <p>実習施設での支援体制の課題の明確化と検討。</p>
		12 教育課程は、看護学の内容、求める学修の到達および学生の成長発達について明確な考え方と根拠をもって編成しているか	3.7		
	教育課程編成の考え方とその具体的な構成	13 科目構成、単元構成の考え方と根拠を明確にして構成され、その考え方は教育理念・目的、教育目標との整合性をもち、構成された科目は看護実践者を育成するのに妥当であり、かつ養成所の特色をあらわしているか	3.4		
		14 単位履修の方法とその制約が教師・学生の双方がわかるように明示し、その方法が学生の単位履修の支援となっているか	3.4		
	教育内容の階層的関連性とその配分の考え方・科目・単元構成	15 科目の配列は、単位履修と看護実践者になるために養成所が設定したその質を維持して修得できるような配列になっているか	3.4		
		16 単位認定の基準(設定)および方法において、看護専門職に必要な学修を認めるものとして十分に根拠があり、また、妥当であるか	3.6		
		17 他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えているか	3.8		
	教育計画	18 教育課程を評価する体系が整っており、また、結果の活用における倫理的規定が明確になっているか	3.3		
		19 担当科目や担当時間数の関連から、教員の専門性が活かされ、授業準備に関する時間が保障され教員の専門性を教授できる体制を整えているか	3.1		
	教育課程評価の体系	20 教育課程の運営の実践者である教員が自ら成長できるための相互研鑽、自己研鑽のシステムを整えているか	3.1		
		21 臨地実習施設は、養成所の教育理念、教育目的、教育目標を理解し、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えているか	3.1		
		22 臨地実習指導における学生の学びを保障するために、臨地実習指導者と教員がそれぞれの役割を明確にし、協働体制を整えているか	3.6		
	教員の教育・研究活動の充実	23 学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示し、学生への指導を計画的にしているか	3.7		
		24 臨地実習における学生が関係する事故を把握、分析し、安全教育、安全対策を計画的にしているか	3.7		
学生の看護実践体験の保障	25 臨地実習における学生が関係する事故を把握、分析し、安全教育、安全対策を計画的にしているか	3.7			
	26 臨地実習における学生が関係する事故を把握、分析し、安全教育、安全対策を計画的にしているか	3.7			
Ⅲ群平均			3.4		